

英国大学図書館の 教育・学習指向サービス

- 2006年3月調査出張報告 -

米沢 誠

調査主体と目的

調査主体

文科省先導的大学改革推進委託事業
今後の「大学像」の在り方に関する調査研究(図書館)

代表者: 筑波大学, 永田治樹教授



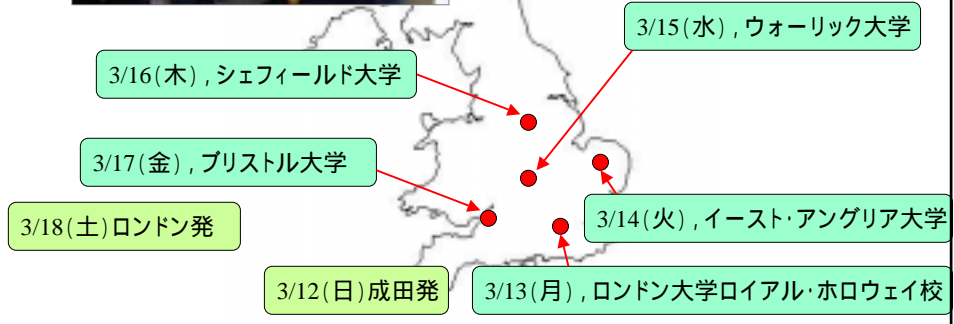
調査目的

高等教育機関としての大学が使命を果たすためには、
学生の学習成果を確保しなくてはならない。
大学図書館はそのための重要な基盤機能である。
今後どうあるべきかという先行事例収集のために、
実地調査を行う。

同行者, 調査日程・訪問先



同行の2人(安井さん, 永田教授)と
SFX開発者, オーウェン・スティーブンス
ロイヤル・ホロウェイ校にて



英国初の食事「イギリスはおいしい！」



ラムチョップ £12.5

ビール 約£3



フィッシュ&チップス £8

学生寮の「おいしい？」ブレックファスト



ロンドン大学 ロイヤル・ホロウェイ校



本部・寄宿舍



本部中庭



ベッドフォード図書館



リエゾン・ライブラリアンによる教育支援



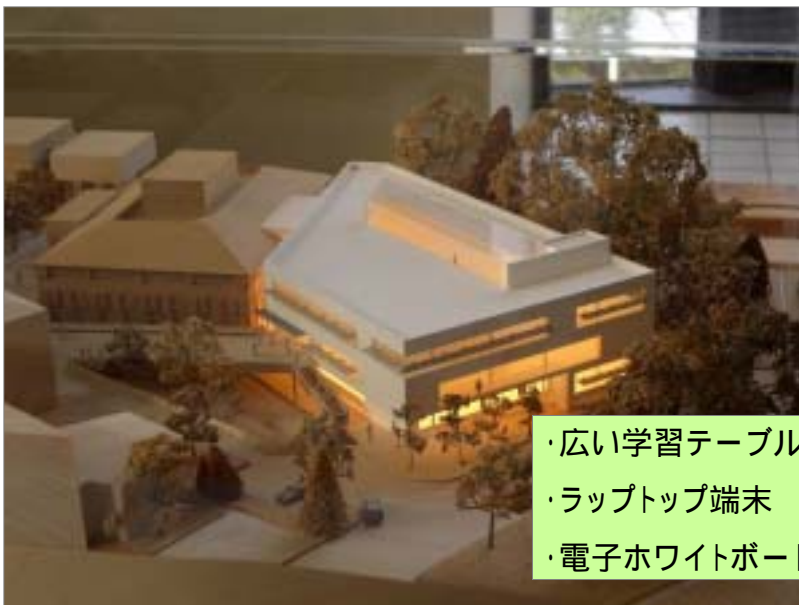
- ・5名のリエゾン・ライブラリアン
- ・複数の学科の初年時利用者教育
- ・2コマ, 35名程度の小クラス
- ・教材は教員と連携開発

図書館長と昼食



ランチプレート £ 3 . 8

計画中のラーニング・コモンズ(新図書館)



- ・広い学習テーブル
- ・ラップトップ端末
- ・電子ホワイトボード

ステーション(ウォータールー駅)



英国の鉄道(ブリット・レイル)



本場のイングリッシュ・ブレックファスト！



イースト・アングリア大学図書館



セルフサービスの促進



- ・2005年は25% 2006年は70%
- ・12名の人員削減(4名は貸出部門)
- ・2006年秋には、RFIDに移行予定

セルフサービスのアシスタント



- ・読み取りミス、セルフの促進

館内に設置された返却用ポスト



- ・館内外に6台のポスト
- ・図書の整理は、ソーテーションUnit
- ・図書の配架は、シェルビングUnit

インフォメーション・コモンズ



IT用品の自販機



ノーフォーク&ノーリッジ・ミレニアム図書館



- ・市街中心地に立地(コモンズ)
- ・カフェ, レストラン, ラジオ局などと複合
- ・2001年開館, 2004年度貸出トップ

ノーフォーク&ノーリッジ・ミレニアム図書館



・インターネット端末100台

・新刊書・ベストセラーは「エクスプレス」コーナーに配置

ノーフォーク&ノーリッジ・ミレニアム図書館



・広く開放的

・カフェなどの社交的施設

永田教授 in ノーリッジ



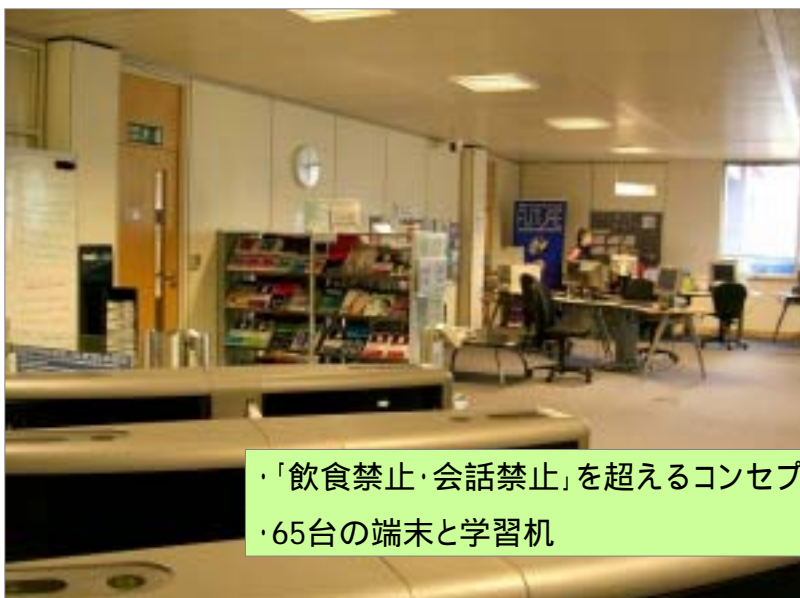
ウォリック大学本部



ウォリック大学本部ロビー



ウォリック大学ラーニング・グリッド



・「飲食禁止・会話禁止」を超えるコンセプト
・65台の端末と学習机

ウォリック大学ラーニング・グリッド



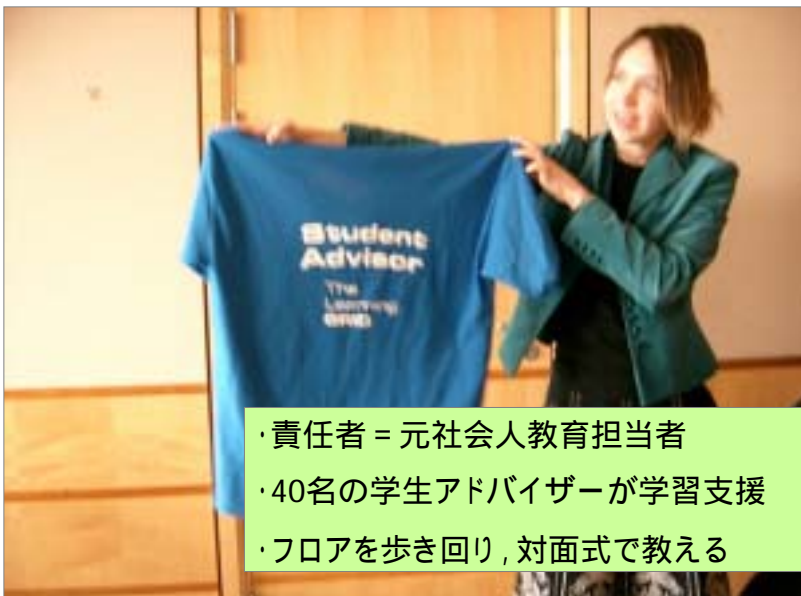
ウォリック大学カフェ



ウォリック大学ラーニング・グリッド



アドバイザー・ユニフォーム



- ・責任者 = 元社会人教育担当者
- ・40名の学生アドバイザーが学習支援
- ・フロアを歩き回り、対面式で教える

英国の郊外風景



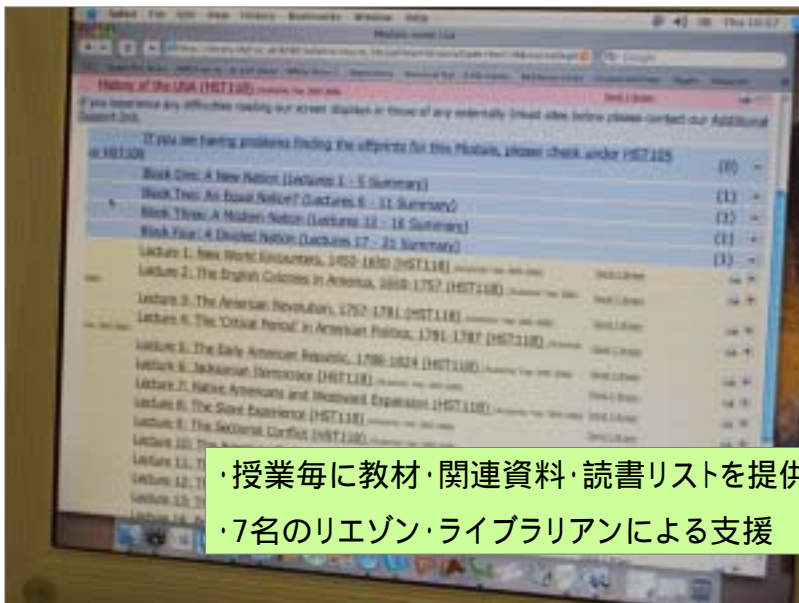
シェフィールド大学図書館



セルフサービス



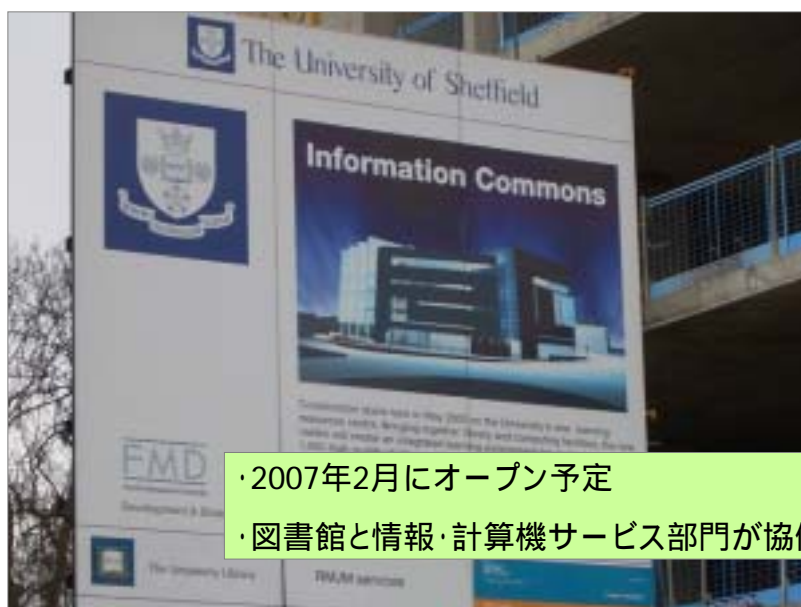
VLE (Virtual Learning Environment)



建築中のインフォメーション・コモンズ



インフォメーション・コモンズ予想図



・2007年2月にオープン予定

・図書館と情報・計算機サービス部門が協働

インフォメーション・コモンズ予想図

- ・1,000席, 400無線LAN-PC
- ・10万冊の蔵書, 9千のEJ
- ・24/7開館
- ・70席のカフェ



インフォメーション・コモンズ予想図



「イギリスは本当においしい」



カレー & ナン



タラコのF&C

永田教授 in シェフィールド



ブリストル大学



図書館と情報センターとの協働



- ・2000年に図書館とIT部門を統合
- ・2005年に再編成, プロジェクト形式で活動

ブリストル2景



ランチプレート £4.5

永田教授 in ブリストル



ロンドンの公園

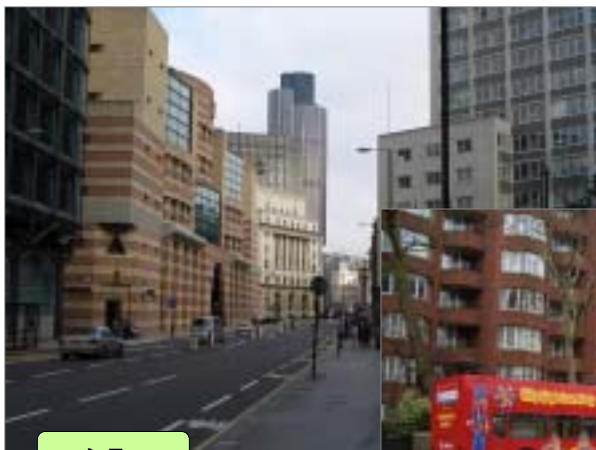


ケンジントン・ガーデンズ

ピーターパンの像



ロンドンの朝



シティ



ロンドンの足



ロンドン警戒態勢！



ロンドン厳戒態勢！



国会議事堂



ささやかなロンドン観光



テート・ブリテン

テムズ川とミレニアム橋



パディントン駅の回転ずし「イギリスでもおいしい？」



ラーニング・コモンズの具体的な利用像

- ・各種情報資源を活用し、長時間リラックスして学習ができる
- ・グループ学習できるスペースがあり、プレゼン練習もできる
- ・レファレンスサービスや各種講習会を受けることができる
- ・スキャナー、プリンタ、マルチメディア加工などの設備が利用可
- ・コンピュータ設備についての技術的支援を受けることができる

ラーニング・ commonsの構成要素(3S)

